



「昭和の名車勢ぞろい」と題して、個人オーナーらへの呼び掛けで多数の名車が並んだ

“古き良き”時代を懐かしむ 昭和がテーマのイベント

そうさ記念公園で4月29日、“懐かしの昭和”をテーマとしたイベント「昭和だよ！全員集合！」が行われ、往年の名車の展示や懐かしの名曲ライブなどを楽しもうと多くの人が訪れました。

このイベントは、昭和の日になんだ企画で市外からたくさんの人を呼び込めるイベントを開こうとNPO法人匝瑳市観光物産協会が主催したものです。

車両展示では、希少価値が高く時価2億円とも言われる「トヨタ2000GT」を筆頭に、当時注目を浴びた国内外の名車が勢ぞろい。アマチュアバンドによるライブ演奏が会場を一層盛り上げました。また、駄菓子や特産品などを取り扱うテントも立ち並び、“古き良き”昭和の空気を懐かしむ人たちが賑わいを見せました。



企画の目玉として来場者の視線を集めた「トヨタ2000GT」（手前）



テントが立ち並びイベント会場。名曲を披露するライブ演奏も実施

檀林の森でコンサート

講堂の開放にも見学者多数

第12回飯高檀林新緑祭が4月29日、飯高寺境内を会場に開催されました。午前、午後の2部構成で行われたコンサートは、第1部に市内弦楽団「UFO」^{ユーフォー}と八日市場小学校児童で構成する「竹の子オーケストラ」が出演し、人気の歌謡曲やクラシック音楽を演奏。第2部には、全長3mを超える民族楽器「アルプホルン」を演奏する「アルプス音楽団」が出演し、境内に楽しげなアルプス音楽とリズムに合わせた手拍子の音が響きました。

また、新緑祭前後の28、30日には、講堂の一般開放が行われ、同所は昨年夏公開の映画ロケ地ともなっていたことから、映画ファンなど多くの人が訪れました。



新緑祭で全長3mを超える「アルプホルン」を体験する来場者（右）



八日市場東照宮例大祭で威勢よく渡御

中央地区萬町で5月20日、徳川家康公をまつる八日市場東照宮の例大祭が行われました。

当日は、晴天に恵まれさわやかな風が吹き抜ける絶好の祭り日和で、襟に葵、背中に「もん前」の紋をあしらったそろいの半てんを

まとった担ぎ手たちが集まり、大小2基の神輿みこしが13時に東照宮を出発（＝写真）。先に行く軽快な囃子の音色に合わせて地区内を威勢よく練り歩き、大勢の見物人を魅了しました。



全日本大会に出場するタイヘイチームの3人。
(左から)木川さん、梶山さん、齊藤さん

「上を目指して楽しむ」 タイヘイチーム、弓道全国大会へ

官公庁や会社など事業所単位で勝敗を競う第65回全日本勤労者弓道選手権大会（茨城県水戸市・6月1～3日）に、タイヘイ株式会社弓道部所属の木川寿真さんと齊藤健夫さん、梶山裕介さんで構成するチームが出場します。

同チームは、3月に開催された県予選会にこの3人で初参加。トーナメント戦を制して県代表として全国大会への切符を手に入れました。チームをまとめる梶山さんは、「目標は優勝。メンバーは力もあるので、上を目指して取り組んでいけるのが楽しみです」と抱負を語りました。

なお、木川さんは、今年度の国民体育大会の千葉県代表選手にも選出されています。

元気な笑い声が響く ぬくもりの郷で創立記念祭

そうさぬくもりの郷で4月26日、平成16年の開所から14年を迎えたことを記念するイベントが開かれ、利用者の元気と長生きを願った企画が職員により披露されました。

特設ステージが設けられた会場では、演歌「北国の春」を歌いながら体操を行う「歌体操」や、職員で特別に結成した「ぬくもりザ・ドリフターズ」によるコント劇などを上演。コント内で「オイッー」というお馴染みの掛け声が響くと、観客席は笑い声に包まれました。



施設利用者の前でコントを上演



(株)ゼンリン・吉川俊也東京第二支社長(右)から
マップを手渡される太田市長

“日ごろの備え”に官民協働 「防災・ふくしガイド&マップ」完成

株式会社ゼンリンと市が昨年10月に結んだ災害協定に関連して、「匝瑳市防災・ふくしガイド&マップ」が官民協働事業として作成され、4月26日に贈呈式が行われました。

災害時避難所などが記されるとともに、防犯や医療・福祉などの“日ごろの備え”となる各種情報を掲載した同マップは、4月末に区長・連絡員を通じて各戸配布が行われました。また、下記施設の窓口でも配布しています。

《マップ配布施設》市役所、野栄総合支所、生涯学習センター、市民ふれあいセンター、八日市場ドーム、のさかアリーナ、八日市場勤労青少年ホーム、八日市場公民館、保健センター、そうさ観光物産センター匝りの里、ふれあいパーク八日市場、吉崎浜野外活動施設、匝瑳市民病院



栄地区に津波避難タワーが完成

本市3基目となる津波避難タワーが3月末、栢田地先に完成しました(=写真)。

タワーは、県道飯岡一宮線の堀川浜交差点から北に約100mの場所に位置し、鉄骨造りの躯体で高さは地上7.5m。階段とスロープ

の2方向の動線につながる最上部避難スペースには100人を収容できます。

また、5月20日には、地区住民を対象とした見学会を開催。実際にタワーを開放して施設の確認が行われました。